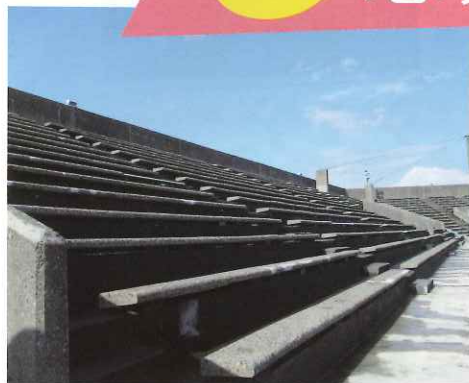


特集 地域がめざす支え合い活動



現在の小針野球場

一年を振り返って

令和3年がスタートし2ヵ月が過ぎました。今年度は新型コロナウイルスの影響で、5月の定期総会が書面総会となり、計画したコミ協事業の大半が中止となりました。しかし、後半には感染症対策を十分に行い、9月には毎年恒例の元気いきいき教室「ウォーキング講座」、12月には地域課題である「地域が目指す支え合い活動」の研修会、地域包括支援センター小新・小針にご協力いただき「これからの親の生活に不安がありませんか？ 知っておきたい介護のあれこれ」の講演会を開催しました。

令和3年度も、コロナ感染症の影響でコミ協事業の実施に支障が予想されますが、コミ協の運営にご支援ご協力をお願い申し上げます。

会長 岩脇 正之

地域がめざす



「ささえあいプラン」
ってな～に？

「いきいき西区ささえあいプラン」は、いつまでも住み慣れたところで誰もが自分らしく充実した生活を安心して送れるように、住民・地域団体・社会福祉協議会・区などが協働してささえあい地域をつくることを目的とした計画です。

小針小学校区でも支え合いのしくみづくり推進員が、地域の目指すべき目標や姿をイメージしながら協議を重ね、より地域に密着した「小針小学校区ささえあいプラン」を作成しました。



小針小学校区ささえあいプラン

みんなで育てよう生きる力～このまちに住んでよかった小針～

具体的な取り組み

未来につなぐ地域のネットワークづくり

- 小針地域のイベントや取り組みをインターネットで発信する
- 世代を超えたイベントで顔の見える関係づくりや生きがいづくりを行うなど



笑顔で助けあえるまちづくり

- 健康寿命を延ばす取り組みを進める
- 地域の茶の間など高齢者の居場所の必要性を各自治会に広げるなど



すこやかな子育てを支えるまちづくり

- 子育て世帯が集い活動できる場の提供と子育てサークルへの支援を行う
- 大学生や地域の若者を引き込むなど若いボランティアを増やすなど



安心安全に暮らせるまちづくり

- 合同防災訓練などを継続する
- 災害時に支援行動を要する住民の支援方法などについて各自治会と連携を行うなど



私たちは何をすればいい？



一人ひとりが「自分だったらどんなことができるだろう」と考え、一人でも多くの方に地域活動や企画に参画してもらうことが大切になります。多くの方の参画によって新しいアイデアが生まれるのはもちろん、地域の人と人とのつながりも深まっていきます。気になる・興味のある活動があれば、「私もやりたいな」と声をあげてみてください。「このまちに住んでよかった」と思える小針地域のため、西区社会福祉協議会も地域の皆さんと一緒に考え一緒に動いていきたいと思えます。

西区社会福祉協議会より

支え合い活動



自治会長研修会 「地域がめざす支え合い活動」

困ったときはおたがいさま これからの支え合い～共助～を考えよう

12/13(日)開催 参加人数92名

講演「地域がめざす支え合い活動」

【講師】 青木 茂さん(新潟医療福祉大学 准教授)

パネルディスカッション

「小針地域の支え合い活動とこれから」

パネリスト

- 青木 茂さん(新潟医療福祉大学 准教授)
- 小林 恵美子さん(西区健康福祉課)
- 加野 麻理子さん(西区社会福祉協議会)
- 落合 清美さん(JA厚生連新潟医療センター)

コーディネーター

- 山賀 昌子さん
(NPO法人まちづくり学校)



話題提供

- 藤本 フミエさん(支え合いしくみづくり推進委員)
- 竹田 祥一さん(小針コミ協 事務局長)
- 北村 正美さん(東小針自治会 会長)
- 小林 美紀さん(小針コミ協福祉部会 副会長)

青木先生より地域での支え合いはなぜ必要か、「ささえあいプラン」とは何か、「今」と「この先」を見すえて各地域ではどんなことが行われているかを講演いただき、その後小針地域での支え合い活動や「いきいき西区ささえあいプラン」について情報交換し、これからの支え合い活動について考えました。



地域の茶の間in小針小学校

令和2年11月20日(金)

小針小学校の6年1組は、様々なイベント実施が困難なコロナ禍において、地域の方々の交流を生み出そうと「地域の茶の間in小針小学校」を計画しました。行政の方々や地域の茶の間の運営者の方々と共に準備を行い、感染症対策に十分な注意を払いながら、当日を迎えました。



感染症対策

参加してくださった皆様に検温、こまめな手洗い、手指消毒をしていただくようお願いしました。また、広い会場を準備して、一人ひとりの間隔を空けることができましたようにしました。



交流の内容

「お話タイム」「オセロ・トランプ」「折り紙」「ボールカーリング」のように、参加したみんながルールを理解し、お互いに関わり合うことができるような内容で楽しむことができました。



参加する方々の安心

6年1組のメンバー2人と参加してくださった方々2人で、4人組をつくりました。4人でグループをつくることで安心して参加できるようにしました。



参加してくださった方からは、「自分の小さい頃や自分の子どもが小さいときの思い出がよみがえり、なつかしくもあり、とても楽しめました。」「コロナの影響で遠く離れた孫となかなか交流がなく、今回の機会をととてもありがたく思いました。」という感想をいただきました。

「地域の茶の間」を運営する経験を通して、子どもたちは、「これからも私たちが、地域の茶の間に参加したり、積極的に声を掛け合ったりして、地域のつながりを大切にしていきたいです。」と、小針のまちに対する思いを深めることができました。

元気なうちから知っておきたい 介護のあれこれ

12/19 (土) 参加人数 38名

地域包括支援センターは、高齢者の皆様が住み慣れた地域で安心して過ごせるよう、介護・福祉・健康・医療など様々な面から高齢者やそのご家族を総合的に支援する機関です。

ある日突然家族に介護が必要になったら、働く世代の方は「自分自身の生活は今後どうなってしまうのか」、「仕事は続けられるのか」など様々な不安を抱かれるかと思えます。

本講座では、家族の介護に直面した時、介護と仕事の両立やご自身の生活の安定を考えるための情報として、地域包括支援センターの役割や活用方法・介護保険制度の仕組み・利用できるサービス(利用料金)など、介護が必要になる前から知って



おいていただきたいことをお話ししました。

地域包括支援センターへのご相談は介護が必要になった時の他に、「最近物忘れが増えた」、「健康づくりに取り組みたい」など、今すぐの介護が必要でなくてもご利用いただけます。また「誰かに相談したいけど、どこに相談したらよいか分からない」という時も、まずは地域包括支援センターにご相談ください。

電話・訪問・来所など相談方法は問いません。来所の際は事前のご予約をお願いします。

地域包括支援センター 小針・小針 TEL025-201-1351



お知らせ

小針野球場さよならイベント

50年の長い間、野球人はもとより多くの皆様に親しまれてきた小針野球場が令和3年3月31日で廃止になります。それにともない、西区役所などが主催する「小針野球場さよならイベント」が開催されます。

開催日時

令和3年3月27日(土)9時~16時、28日(日)8時~16時

※雨天時は室内イベントのみ

会場

小針野球場

主な内容

- パネル展示
 - ・小針野球場の懐かしい写真、記事
 - ・学童野球チームやプロ野球選手などの思い出メッセージ
- バックヤード開放
 - ・グラウンド、ロッカールーム、放送席など
- 学童野球チーム対象の野球教室(一般参加不可)
 - ・講師:本間 忠さん(元東京ヤクルトスワローズ 投手)
- 体験コーナー(バットの貸出しあり。グローブ、バット持参可)
 - ・コントロールチャレンジ(投球・ティー打撃)
 - ・ホームランチャレンジ など
- さよなら親善試合(28日のみ:8時~9時20分)
 - ・小針中学校野球部VS還暦野球チーム(スタンド観覧可)

関連イベント 巡回パネル展示

- ・アピタ新潟西店(3/9~3/18)
- ・NTXT21アトリウム(3/18~3/26)
- ・小針野球場(3/27~3/28)
- ・西新潟市民会館(3/29~4/8)



※内容が一部変更になる場合がございます。 詳細は新潟市ホームページをご覧ください。

小針まちづくりセンター移転について

小針野球場に併設されています小針まちづくりセンター(小針コミ協事務所)は、令和3年3月31日の野球場の廃止にともない4月1日より西新潟市民会館に移転します。